

農林業経営体調査の試行調査結果について

I 2010年農林業センサスの調査手法に関する試行調査

1 実施状況

(1) 調査期日

平成20年2月1日現在

(2) 調査対象

農林業経営体

(3) 調査系統

農林水産省 — 府県 — 市町 — 調査員

(4) 調査方法

調査員が調査票を配布・回収する自計申告調査、または、調査員が調査票を配布し、郵送により回収する自計申告調査

(5) 調査の範囲

- ア 岩手県花巻市及び奥州市
- イ 長野県松本市及び伊那市
- ウ 愛知県豊橋市及び田原市
- エ 京都府福知山市及び和束町
- オ 鳥取県鳥取市及び北栄町
- カ 高知県香美市及び津野町
- キ 鹿児島県鹿児島市及び霧島市

(6) 比較検証事項

ア 調査客体候補名簿のレイアウトの違いによる比較

単記式と連記式のレイアウトについて、調査精度、調査員及び市区町村職員の労力等を検証

イ 調査客体の判定方法の違いによる比較

調査員による調査客体に対する聞き取りの手法及び調査客体候補名簿の項目を調査票に直接組み入れた手法について、調査精度、調査員及び市区町村職員の労力等を検証

ウ 調査票の回収方法の違いによる比較

調査票の郵送回収による方法及び調査員による回収方法について、調査精度、調査員及び市区町村職員の労力等を検証

2 試行調査結果

(1) 調査客体候補名簿のレイアウトの違いによる比較

表 1 調査客体候補名簿の違いに対する 1 客体当たりの調査員の実査・審査時間
(単記式客体候補名簿を 1 としたときの時間)

	単記式	連記式	
		簡略	詳細
計	1.00	0.98	0.92
実査（調査内容の説明・聞き取り時間）	1.00	0.94	1.00
審査	1.00	1.03	0.80
調査客体候補名簿の審査時間	1.00	1.25	0.78
調査票の審査時間	1.00	0.84	0.81

ア 単記式客体候補名簿（1 枚 1 人、フローチャートあり）に対する意見

- 1 人 1 枚記入のため、枚数が多くなるが、文字が大きく、フローが明示されているなどシンプルで見やすい
- 調査員の誤記入が少ない
- 外形基準が名簿上に記載されていると更に使いやすい

イ 簡略連記式客体候補名簿（1 枚 15 人、フローチャートなし）に対する意見

- 一覧であるため見やすいが、記入欄が狭く書きづらい
- 客体の情報が他の客体に見られてしまう場合がある
- A3 様式で 3 つ折りとなっていて、扱いにくい

ウ 詳細連記式客体候補名簿（1 枚 4 人、フローチャートあり）に対する意見

- 4 客体ずつの一覧で、フローや外形基準が明記されているため見やすいが、文字が小さい
- 客体の情報が他の客体に見られてしまう場合がある
- A3 様式で 3 つ折りとなっていて、扱いにくい

(2) 調査客体の判定方法の違いによる比較

表 2 調査票の違いに対する調査客体の協力度合い

	調査票 A	調査票 B
協力的だった	60.8%	53.8%
普通	35.2%	35.3%
あまり協力的でなかった	2.4%	6.8%
非協力的だった	1.6%	4.1%
うち、調査拒否	1.3%	3.9%

ア 調査票 A（調査員が客体候補名簿で判定し、調査客体に該当する場合のみ調査票を配布する方法）に対する意見

- 調査員が客体候補名簿により外形基準を聞き取り、調査対象者（調査票を配布する者）を正確に判断する必要があるが、調査対象者にのみ調査票が配布されるため、確実に農林業経営体を対象とした調査を実施できる
- イ 調査票B（客体候補名簿での聞き取りはせずに、調査区内の農林業経営体以外も含めたすべての客体に調査票を配布し、記入者が外形基準を自ら判定し経営体に該当した場合に記入していく方法）に対する意見
 - 客体候補名簿による聞き取りがなくなり、調査員が調査客体を判定する労力は軽減されるが、回収する調査票が増え、調査負担が増大。また、これまで調査対象者でなかった者に対して、調査の説明や協力依頼が必要

(3) 調査票の回収方法の違いによる比較

表3 回収方法の違いに対する1客体当たりの調査員の実査・審査時間（調査員回収を1としたときの時間）

	調査員回収	郵送回収
計	1.00	0.63
実査（調査内容の説明・聞き取り時間）	1.00	0.76
審査（調査客体候補名簿の審査時間）	1.00	0.31

表4 客体への訪問回数

	調査員回収	郵送回収
1回目の訪問で終了	56.0%	66.9%
2回目の訪問で終了	31.4%	23.7%
3回目以上の訪問で終了	12.6%	9.4%

表5 回収方法の違いに対する調査客体の協力度合い

	調査員回収	郵送回収
協力的だった	62.9%	55.7%
普通	30.1%	40.7%
あまり協力的でなかった	3.9%	2.6%
非協力的だった	3.1%	1.0%
うち、調査拒否	2.7%	0.9%

ア 調査員回収に対する意見

- 調査員の労力を要するものの、調査員による確実な回収と審査ができるため調査精度が高い
- 調査に対する協力度合いも高い

イ 郵送回収に対する意見

- 高齢者等の記入が困難な客体については、調査票の配布の際に、直接聞き取って代筆が必要となる場合が生じる
- 調査員が督促を行う場合は、市区町村に対して客体の提出状況の確認が必要となり、新たな調査員の負担が生じる。また、本調査で実施した場合には、市区町村職員の事務量が一時的に集中・増大の可能性
- 調査員が調査票への記入内容について直接確認ができないため、記入漏れや記入誤りが多い

3 改善方向

(1) 調査客体候補名簿のレイアウト

- 単記式の場合には、調査員が聞き取る際にわかりやすく見やすいこと、更に誤記入も少ないことから、個人情報保護の観点も踏まえての前回センサスと同様に単記式の客体候補名簿により調査を実施
- 単記式の客体候補名簿については、今回の試行調査結果等における意見を踏まえより使いやすい方向で改善

(2) 調査客体の判定方法の違いによる比較

- 調査客体候補名簿の項目を調査票に直接組み入れた手法については、農林業経営体に該当する調査票と該当しない調査票が混在し、それぞれの調査票について、農林業経営体の該当の有無も含め、記入結果の確認・審査の時間が増加し、調査員の負担が増大。
- 農林業経営体以外についても調査票を配布する方法については、新たに経営体以外の者に対する協力依頼等を行う必要があり、この面からも調査員の負担が生じるとともに、必要な予算措置を行うことが困難
- このため、前回センサスと同様に調査員による客体の判定を行う方法で実施

(3) 調査票の回収方法の違いによる比較

- 郵送回収については、調査票を回収する際に、調査員による記入内容の確認・審査ができないため、記入漏れや記入誤りが多く、市区町村職員の審査事務が増大するため、実施は困難
- 調査員による回収については、調査票の確実な回収と審査ができ、調査精度が高くなることなどから、前回センサスと同様に、この方法で実施

Ⅱ 2010年農林業センサスの調査内容に関する試行調査

1 実施状況

(1) 調査期日

平成20年7月1日現在

(2) 調査対象

農林業経営体

(3) 調査系統

農林水産省 — 道県 — 市町 — 調査員

(4) 調査方法

調査員が配布・回収する自計申告調査

(5) 調査の範囲

ア 北海道清水町
イ 栃木県小山市
ウ 石川県小松市
エ 奈良県奈良市
オ 岡山県真庭市
カ 愛媛県東温市
キ 長崎県雲仙市

(6) 検証事項

ア 調査内容の設定等の検証

調査事項の設定、設問の用語や表現等調査内容の検証を行うとともに、
調査票の記入状況を検証

イ 民間委託の検証

調査業務の一部について民間委託を行い、調査精度の確保等も含め民間
委託による調査実施上の課題等を検証

2 試行調査結果

(1) 調査内容の設定等の検証

ア 調査票の調査項目についての意見

表6 調査客体の調査項目への記入状況

区分	正しく記入していた	記入漏れ・記入誤りがあった	ほとんど記入していなかった
割合	37.6%	54.9%	7.6%

- 従事日数（1日8時間）の数え方や基準、けい畔の取り扱い、もう一つの経営や1世帯1経営、耕作放棄地などの用語がわかりにくい
- 調査票の記入の仕方は読まないで記入している場合が多く、【3】世帯や【8】販売金額など記入漏れや記入誤りが多い
- 客体候補名簿の面積と【6】土地の面積とに差がありどちらが正しいか確認が難しい

イ 調査票のレイアウト等について

- 次の設問がわかりやすいように矢印で誘導しているが、よりわかりやすく改善が必要
- 必須項目と該当する者だけ記入する項目との区別がないため記入漏れが多い
- 全体的に暖色系が多いが、薄いブルーの背景で濃い青い文字など見落とすことが多く、他の色を使用して重要な点が目立つようにするなどメリハリを付けた方がよい
- 高齢者が多いためもう少し文字を大きくして欲しい

ウ 調査員用手引きの内容について

表7 調査員用手引きに対する調査員の感想

理解の度合い	割合
内容が難しくなく、正しく理解できたと思う	51.5%
内容は難しいが、理解はできたと思う	36.4%
内容が難しく、十分理解はできなかった	12.1%

- 言葉、表現など農業に従事している者でなければ理解できない部分がある
- 調査スケジュールについては、調査員が特に行うべきポイントが不明確で、文章の量も多い

エ 調査客体候補名簿の作成について

表 8 調査客体候補名簿の作成に関する調査員の感想

難易の度合い	割合
特に難しくなかった	91.2%
難しかった	8.8%

- 調査客体候補名簿の作成については、約 9 割が「特に難しくなかった」と回答
- 調査客体候補名簿を調査票と一緒に客体へ配布したケースがみられた
- 客体が高齢であったり、森林などの面積を把握していない場合、あいまいな数値で回答されると実態を反映した結果とならない場合がある

オ 調査票の審査について

表 9 調査票の審査に対する調査員の感想

難易の度合い	割合
内容が難しくなく適切に審査できた	43.8%
内容は難しいが、適切に審査できた	37.5%
内容が難しく審査は無理だった	18.8%

- 調査票の審査については、全体の 8 割強が「適切に審査できた」と回答

カ 配付資料について

- パンフレットは調査時に配布するのではなく、事前に配布した方が調査に対する理解を得やすい
- 記入の仕方は、文字が小さく内容が細かいので見づらい

キ 総合的な改善点について

- 地域のリーダーも含め広く農林業センサスについての周知を図るため、広報の充実が必要
- 地方統計組織が実施する農山村地域調査の問い合わせがあり、両調査が混同されないよう事前の指導が必要

(2) 民間委託の検証

ア 事務の効率化について

- 市町村段階では、調査票の審査業務等については、ある程度は効率化されるが、一方で、仕様書の作成や委託業者の入札に関する事務が新たに生じた

イ 受託業者への説明会について

- 受託業者への説明会は、応募した民間業者が少ないこともあり、質問の時間も十分に確保できた

ウ 調査員の確保について

- 試行調査においては調査区と調査客体数が少なく、受託業者は、調査員を地元の農業関係者に依頼して確保したが、本調査の場合には調査区と調査客体数もかなり多くなり、調査を実施できるだけの多くの調査員の確保は大変難しい

エ 調査精度について

- 調査項目の定義や記入の仕方などについて、市町村と受託業者との間で何度も打合わせをしなければ、すべての調査事項に正しく記入された完全な調査票にはならない。
- このため、受託業者も統計業務の経験を何度か積まなければ、本来の民間委託による調査の効率化や精度の維持は難しい

3 改善方向

(1) 調査内容の設定等の検証

- ア 記入漏れや定義が難解な調査項目については、新たに注釈を付けたり、わかりやすい内容とするよう、調査票や記入の仕方を改善し、審査事務の効率化を検討
- イ 調査票、記入の仕方、手引きなどの配付資料については、それぞれがわかりやすいよう配色に配慮するとともに、全体として、専門用語ではなく、平易で一般的な言葉を用いて理解しやすいものとなるよう改善
- ウ 調査客体候補名簿については、実態を反映した数値が記入されるよう前回センサスの数値（回答値）をプレプリントし、調査員の調査負担の軽減を図る
- エ 農林業センサスについて、広く理解と認識を得て、円滑に実施するために、関係団体の協力を得ながら、事前に調査対象者への周知と理解が図られるよう広報を充実

(2) 民間委託の検証

- ア 地方公共団体において、民間委託の導入にあたっては、調査の確実な実施と調査精度の確保が不可欠であることを踏まえ、民間事業者の受託可能性等について十分な検討が必要
- イ 民間委託による市区町村の事務負担の効率化のためには、上記の点が重要であることについて地方自治体等を指導

(3) その他

地方統計組織が実施する農山村地域調査の調査対象者と農林業経営体の調査客体が重複する場合もあるため、両調査が混同しないように十分な指導を行う



2010年農林業センサス調査手法に関する試行調査 農林業経営体調査客体候補名簿〔1〕

	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区
名 称				
基本指標番号				

整理番号

経営体の名称		経営主の氏名 (代表者)	
電話番号		住所又は所在地	

2005 年センサス 結果の状況	調 査 客 体 の 種 類		世 帯	(1)	
			組 織	(2)	
	農 産 物 販 売 金 額	15万円未満	1		
		15万円以上50万円未満	2	(3)	
		50万円以上	3		
	農 業 サ ー ビ ス の 実 施		(4)		
	林 業 サ ー ビ ス の 実 施		(5)		

以下の事項について聞き取りをしてください

客体の所在状況	調査区内にいる	1	(6)	
	調査区内にいない	2		

(6) 欄が1の場合

現 在 の 土 地 に 関 わ る 状 況					
	田、畑、樹園地の面積の計 (ha) (a)				
所有している面積	(7)				
うち貸付耕地面積	(8)				
うち耕作放棄地面積	(9)				
借入耕地面積	(10)				
経営耕地面積	(11)				
保有山林 面 積	(ha) (a)				
	(12)				

現在の農林業経営体の外形基準等 (該当のものに○)	農 業	経営耕地面積30a以上又は別表1の物的指標以上である	(13)	1
		農業サービス(農作業の受託、選果選別等)を行っている	(14)	1
	林 業	保有山林の面積が3ha以上で2008年を計画期間に含む森林施業計画を作成している	(15)	1
		保有山林の面積が3ha以上で過去5年間に育林若しくは伐採を行っている	(16)	1
		委託を受けて造林・保育を行っている	(17)	1
		委託を受けて又は立木を購入して200立方メートル以上の素材生産を行っている	(18)	1

外形基準等に
該当あり

調査票を
配布する

外形基準等に
該当なし

調査票を
配布しない

調査票を配布しない客体の場合に記入

農 産 物 販 売 金 額	1 5 万 円 未 満	一つを必ず○	(19)	1
	15万円以上50万円未満			2
	5 0 万 円 以 上			3

2010年農林業センサス調査手法に関する試行調査 農林業経営体調査客体候補名簿一覧表〔2〕

都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区

整理番号	経営体の名称	経営主の氏名	電話番号	住所又は所在地	2005年センサス結果の状況				現 在 の 状 況													外形基準等に該当					
					調査客体の種類	農産物販売金額			農業サービスの実施	林業サービスの実施	調査区内に	(11)欄が1（調査区内にいる）の場合に記入							農林業経営体の外形基準等*1					調査票を配布する	しない 農産物 販売額 15万 円未 満1 2 3		
						世帯 1	組 2	15万円未満 1				50万円以上 50万円未満 2	50万円以上 3	所有耕地面積 (a)	うち貸付 耕地面積 (a)	うち耕作 放棄地面積 (a)	借入 耕地面積 (a)	経営 耕地面積 (a)	保有 山林 面積 (a)	農業		林業					
																				30a又は 物的指標 以上	農業サ ービスの 実施	保有山林 の森林施 業計画	保有山林 の育林・ 伐採			委託の 造林・保 育	素材生産 の実施
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)				
1																1	1	1	1	1	1	1					
2																1	1	1	1	1	1	1					
3																1	1	1	1	1	1	1					
4																1	1	1	1	1	1	1					
5																1	1	1	1	1	1	1					
6																1	1	1	1	1	1	1					
7																1	1	1	1	1	1	1					
8																1	1	1	1	1	1	1					
9																1	1	1	1	1	1	1					
10																1	1	1	1	1	1	1					
11																1	1	1	1	1	1	1					
12																1	1	1	1	1	1	1					
13																1	1	1	1	1	1	1					
14																1	1	1	1	1	1	1					
15																1	1	1	1	1	1	1					

* 1 農林業経営体の外形基準等は以下のとおりである。

(17)の「30a又は物的指標以上」とは、「経営耕地面積30a以上又は別表1の物的指標以上」である。

(21)の「委託の造林・保育」とは、「委託を受けて造林・保育を行っている」である。

(18)の「農業サービスの実施」とは、「農業サービス（農作業の受託、選果選別等）を行っている」である。

(22)の「素材生産の実施」とは、「委託を受けて又は立木を購入して200立方メートル以上の素材生産を」である。

(19)の「保有山林の森林施業計画」とは、「保有山林の面積が3ha以上で2008年を計画期間に含む森林施業計画を作成している」である。

2010年農林業センサス調査手法に関する試行調査 農林業経営体調査客体候補名簿一覧表〔3〕

都道府県

市区町村

旧市区町村

農業集落

調査区

整理番号

経営体の名称

経営主の氏名

電話番号

住所又は所在地

2005年センサスの状況

調査客体の種類

農産物販売額

農業サービスの実施

林業サービスの実施

調査区内

世組

帯織

1

2

1

2

1

2

1

2

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

現在

の

状

況

所有耕地面積

うち貸付耕地面積

うち耕作放棄地面積

借入耕地面積

経営耕地面積

保有山林面積

(a)

(a)

(a)

(a)

(a)

(a)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

外形基準等

経営耕地30a

露地野菜15a

施設野菜350㎡

果樹10a

露地花き10a

施設花き250㎡

搾乳牛1頭

肥育牛1頭

豚15頭

採卵鶏150羽

ブライー1,000羽

左記以外50万円

農業サービス

森林計画

育林・伐採

委託の造林・保育

素材生産200㎡

調査を布

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

(10)が1の場合

整理番号

経営体の名称

経営主の氏名

電話番号

住所又は所在地

2005年センサスの状況

調査客体の種類

農産物販売額

農業サービスの実施

林業サービスの実施

調査区内

世組

帯織

1

2

1

2

1

2

1

2

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

現在

の

状

況

所有耕地面積

うち貸付耕地面積

うち耕作放棄地面積

借入耕地面積

経営耕地面積

保有山林面積

(a)

(a)

(a)

(a)

(a)

(a)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

外形基準等

経営耕地30a

露地野菜15a

施設野菜350㎡

果樹10a

露地花き10a

施設花き250㎡

搾乳牛1頭

肥育牛1頭

豚15頭

採卵鶏150羽

ブライー1,000羽

左記以外50万円

農業サービス

森林計画

育林・伐採

委託の造林・保育

素材生産200㎡

調査を布

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

(10)が1の場合

整理番号

経営体の名称

経営主の氏名

電話番号

住所又は所在地

2005年センサスの状況

調査客体の種類

農産物販売額

農業サービスの実施

林業サービスの実施

調査区内

世組

帯織

1

2

1

2

1

2

1

2

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

現在

の

状

況

所有耕地面積

うち貸付耕地面積

うち耕作放棄地面積

借入耕地面積

経営耕地面積

保有山林面積

(a)

(a)

(a)

(a)

(a)

(a)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

外形基準等

経営耕地30a

露地野菜15a

施設野菜350㎡

果樹10a

露地花き10a

施設花き250㎡

搾乳牛1頭

肥育牛1頭

豚15頭

採卵鶏150羽

ブライー1,000羽

左記以外50万円

農業サービス

森林計画

育林・伐採

委託の造林・保育

素材生産200㎡

調査を布

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

(10)が1の場合

整理番号

経営体の名称

経営主の氏名

電話番号

住所又は所在地

2005年センサスの状況

調査客体の種類

農産物販売額

農業サービスの実施

林業サービスの実施

調査区内

世組

帯織

1

2

1

2

1

2

1

2

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

現在

の

状

況

所有耕地面積

うち貸付耕地面積

うち耕作放棄地面積

借入耕地面積

経営耕地面積

保有山林面積

(a)

(a)

(a)

(a)

(a)

(a)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

外形基準等

経営耕地30a

露地野菜15a

施設野菜350㎡

果樹10a

露地花き10a

施設花き250㎡

搾乳牛1頭

肥育牛1頭

豚15頭

採卵鶏150羽

ブライー1,000羽

左記以外50万円

農業サービス

森林計画

育林・伐採

委託の造林・保育

素材生産200㎡

調査を布

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

(10)が1の場合